

6月食育月間「食育啓発」テーマ展示 期間:6月17日から7月19日

「くりあじかぼちゃ」から考える 「伝統野菜」と「地産地消」

企画協力 JA天白信用



「くりあじかぼちゃ」成長のようす(2023年6月8日撮影) 撮影協力:JA天白信用

かぼっち

[天白区トップページ](#)>[天白区の魅力](#)>[伝統文化](#)>[いただきます天白産\(天白産の農産物\)](#)には、2種類の野菜が紹介されています



くりあじかぼちゃは、栗の実を逆さにしたような、お尻のとがった特徴ある形をしたカボチャです。カボチャには、表面のゴツゴツの多い「日本カボチャ」と少ない「西洋カボチャ」とがあります。くりあじかぼちゃは、えびすかぼちゃと同じ西洋カボチャの一種で、ホクホクした食感と甘さが特徴です。



八事五寸にんじんは、大正8年に天白区の農家が、東京の種苗会社から導入したニンジンの種から選抜したのがルーツとされています。当時、市場での評判がとても良かったので、産地では生産を徐々に増やし、昭和初期には、東京や大阪の市場を始め、香港にも輸出されていたそうです。